

報道関係各位

2019年7月3日

プレスリリース

## 令和の日本経済—人口減少と経済成長—

2年前に公表された将来推計人口では、約100年後の2115年には、日本の人口は大正初めとほぼ等しい5,055万人まで減少するとされています。

平成は急激な人口減少と高齢化による働き手の減少により、財政赤字は拡大の一途をたどり、地方は「消滅」の危機に陥り、令和の時代もマイナス成長、ゼロ成長という意見が広がっています。

これに対し、長く人口問題と格闘してきた経済学は「否」として、「人口減少ペシミズム（悲観論）」を排し、社会的な課題が多くある現代こそ経済成長のチャンスと考えます。

有料の通勤特急を走らせることにより軒並み増収となる大手私鉄各社や、子供用紙おむつの出荷額を超えた大人用紙おむつなど、人々が何を求めているのかを的確に見出し、新しいモノ・サービスを生み出していく「イノベーション（技術革新）」こそが経済成長の鍵を握るとし、令和の日本経済の課題と展望を考えます。

### 講師 吉川 洋（立正大学長）

経済学者。1951年生まれ。1974年3月 東京大学経済学部卒業、1978年米エール大学経済学博士、1993年東京大学教授、2016年立正大学教授、2019年4月より同大学長。財務省財政制度等審議会会長（2010年～2017年3月）、内閣府景気動向指数研究会（旧経済企画庁景気基準日付検討委員会）座長（1995年～）などを歴任。1984年、サントリー学芸賞受賞。2010年、紫綬褒章受章。近著に『マクロ経済学（第4版）』（岩波書店、2017）、『人口と日本経済』（中公新書、2016）などがある。



### 開催概要

- 日時：2019年8月20日（火）19:00～20:30（18:30開場）
- 会場：日比谷図書文化館 地下1階 日比谷コンベンションホール（大ホール）
- 定員：200名（事前申込順、定員に達し次第締切）
- 参加費：1000円
- 申込方法：ホームページの申込フォーム、電話（03-3502-3340）、来館（1階受付）いずれかにて、  
① 講座名、② お名前（ふりがな）、③ 電話番号をご連絡ください。

〈 お問い合わせ先 〉

日比谷図書文化館 広報担当：並木 namiki-yuri@shopro.co.jp、中村 nakamura-shoko@shopro.co.jp

〒100-0012 東京都千代田区日比谷公園 1-4 TEL：03-3502-3340 / FAX：03-3502-3341

ホームページ：https://www.library.chiyoda.tokyo.jp/hibiya/